

# にっぽんに通信

第四百号 平成十五年十一月二十日

〒九三三〇八〇四 高岡市問屋町四十

有限会社 沖商店

TEL 0766-251-5501

FAX 0766-251-5500

E-mail [okshoten@po.norinai.jp](mailto:okshoten@po.norinai.jp)

いつもお世話になりありがとうございます。

『人は何の為にこの世の中へ生まれて来たのでしょうか』『人生の本来の目的は何なのでしょう』『そんな人の根本問題を皆様と一緒に考えたい』『皆様の心に一石を投じて、意見を頂く機会になることを願って本通信をお届けしている次第です。どうか忌憚りの無いご意見をお寄せくださいます様お願い申し上げます。』

## 一 衆議院議員選挙に思う

九日に衆議院議員選挙が行われました。

結果は、自民党・公明党・保守新党の保守三党連立組が絶対安定過半数を獲得し、小泉内閣続投が決まりました。

私自身は、小選挙区・比例代表とも自民党議員候補・自民党に投票しましたが、かと言って現状に甘んじているわけではありません。

以前から度々述べております通り、現状を変えたいばかりに、民主党に投票しようかとも思いましたが、その民主党もまだまだ私の理想とする議員感覚になっていないので、小泉首相がもつと改革を強力に推進してくれることを期待して、無難な道を選んだ次第です。今回の結果を見てみますと、投票者の皆さんは大体そんな思いだったのではないだろうかと思われま

私は、今回の選挙結果をある程度評価します。それは、二大政党化の色が濃くなって来たからです。

今までのような、自分等の意見だけに固執して一政党を名乗り、そのくせそれを貫くでもなく、いいかげんに妥協して、自分の利益を図るようないいかげんな政党は、無くせねばなりません。

その様な観点から見て、保守新党は党首さえ落選し自民党への同化を覚悟したこと、自分等が政権担当政党の時自衛隊の存在価値を認めながら、野党になったというさま憲法第九条を楯に平和を主張し、外交関係の邪魔をする社民党の衰退は、今回の選挙の最も有意義なことだと私は思います。

それを先読みしていち早く自由党を解散し、民主党

に同化した小沢一郎は『はしかい奴』頭の良い人・小知恵に長けた奴という揶揄の意味もある高岡井と言えましよう。

一ついで述べさせて頂きますと、社民党は、左派は共産党へ、右派は民主党へ移行し解散するべきだと思います。公明党は、創価学会から完全に分離し、個人の考えで自民党・民主党・共産党もしくは無所属となり、各々の立場・考え方に従い日本国家に貢献すべきで、今のままの創価学会第一・日本国第二という考えを捨てて頂かなければいけないと思います。

そして、二大政党のどちらが政権を担おうと、びくともしない日本の政治体制を作り、その上で、各政治家が自己の利を後にして、自分の所属する党の意見ととも関係なく、己の信ずる政治理念に基づいて政策を發表し、皆でそれを検討し相対得るような国会に成つて欲しいと思います。

## 二 最高裁判所裁判官国民審査に思う

このたび行われました衆議院議員選挙と同時に、最高裁判所裁判官国民審査と言つものが行われました。これは、国民が司法の最高である最高裁判所の裁判官を直接審査するものであり、法治国家の原則である三権分立（立法・司法・行政）の中の一つである司法の部分を選挙権利であります。

即ち、衆議院議員選挙（立法の部を選ぶ）と同じ程重要な選挙だと私は思います。なのに、私以外の人は、何の疑いも考えも無く、只、漠然とその審査に加わっているように思います。

彼等を選択する為の、紹介資料も無ければ一般広告欄に×印をしないと言つもので、大概の人は審査用紙に、そのままにも書かないで投票箱へ投函したとでしよう。せめて、適する人の欄に○印をしないと言つのなら、少しは意思が表現されるでしようが。

私は、全員に×印をしてみました。だって三権分立の一番の番人であつてほしい司法の長が、自ら三権分立を無視した（形骸化した）今日の自らの選ばれ方に、何の異議も申し立てず、唯々諾々と流されているので

すからお話になりません。そんな裁判官は全員×です。司法の長は、衆議院議員選挙同様、その人柄を広く国民に周知徹底し、真の理解の下、国民直接の意思で選ばれなければならないと思います。

そして何者にも恐れず、特権階級（大臣・国会議員・高官官僚などの権力者）の影響を受けることなく、大臣であろうと国会議員であろうとまた仲間であろうと

情け容赦なく、裁く者でなければならぬと思つてい

今日なされていよう国会で選ぶのではなく、国民の総意で選ぶ（首相公選）ようにすべきだと思います。（このことに関しても過去何度も述べてきましたが）この『首相公選』を真つ向から謳つた小泉純一郎に

今日、日本で行われている国民選挙が、国会議員選挙だけと言つのは本当の主権在民ではありません。主権在議員、主権在官僚です。『国会議員と高級官僚の天国、日本』と言われる由縁です。

キリスト教の一亜流（彼らは自分達こそ主流だと言つていますが）の『エホバの証人』の宣伝雑誌ではあ

この度の衆議院議員選挙に際し、元総理大臣中曽根康弘が比例代表制の候補者として立候補する意思表示

「乞食と議員は三日やたら止められない」と言われ

中曽根康弘は一時期、日本を背負い、リードした

政治家としてその人なりに一生懸命努力し、政治家

やれなかつた自分の失策・失態であり、自分の才覚の

それでも何とか今までの経験をもつて役立たせ

に奉仕すべきです。これも以前から何遍も申し上げて来たことですが、

私に言わせると、今日の参議院は日本の国会において意味がありません。税金の無駄使いです。

参議院は、衆議院の補佐役として、衆議院の行き過

参議院議員は国のために役立ちたいと言つて人達の集

中曽根康弘も、幾つ何十になつても衆議院議員でい

「空いた港に船が着く」と言つているのに、反抗し裁判に

でも、それが何時の間にか逆になつて来たのです。

「空いた港に船が着く」船が出て行つて岸壁が空け

これが、「自分こそ自分でなければ」と頑張つてい

「空いた港に船が着く」のです。

有限会社 沖商店 代表取締役 沖昌弘  
個人メール E-mail [okshoten@po.norinai.jp](mailto:okshoten@po.norinai.jp)  
(お問い合わせ) [okshoten@po.norinai.jp](mailto:okshoten@po.norinai.jp)